

地域決勝大会優勝！ ゼルビア日本一！

# Machida Dream まちだドリーム

写真提供/安孫子卓郎氏



# 全勝



## JFL昇格決定！「J」へ王手！



# 優勝



## Jリーグが見えてきた！

11月30日(日)沖縄県石垣市あかんまサッカーパークにおいて行われた「地域リーグ決勝大会・決勝ラウンド」の3日目(最終日)が行われ、FC町田ゼルビアは九州リーグ第3位で第一次ラウンドA組を勝ち抜いてきたホンダロックと対戦。2対1で制し地域リーグ決勝大会6戦全勝を達成。優勝を決め、来年のJFLへの自動昇格を決めた。

いよいよJリーグまであと1歩。スタジアム問題がクリアされればJリーグ昇格も実現化する。「ゼルビア イレブン(2011年)宣言」=「2011年、私たちはJリーグ昇格を実現します。まちに元気、子どもに夢と希望を運びます」を実行すべくさらにチーム・フロント・サポーター・市民が一体となって取り組んで参ります。ご支援よろしくお願いたします。

### 森川バーステューゴール！

肌寒くもあるが、セミも鳴いている石垣島会場には次々とゼルビアサポーターが集結。今日も約100名のゼルビアサポーターが熱く声援を送る中、開始10分は五分五分の展開。しかし10分過ぎからは明らかにゼルビアペース。12分、山腰、勝又、酒井と連続ワンタッチパスからシュートとゼルビアの流れができる。この後は完全にゼルビアが敵陣内でゲームを進め、高い位置でのプレスに激しいチェック、ホンダにボールが渡ってもすぐに取り返しゼルビアが攻め続ける。最終ラインを6人で守っているようなホンダに対し、ゼルビアは19分石堂の30m弾、21分柳崎の30m弾、22分浦原の25m弾とミドルシュートで攻撃。

攻め続けるもののなかなかゴールが割れないゼルビア。34分、酒井が相手選手と激しく競り合いながら執念でボールを奪取し、そのボールをもらった勝又がドリブル突破で相手ゴールに迫る。停滞ムードを一掃するような酒井のプレーでリズムを取り戻すと今度は左サイドを津田がドリブル突破。たまたま相手ディフェンダーが反則。これで得た左タッチライン際35mのフリーキックを石堂が蹴るとゴール前に詰めていたゼルビア攻撃陣と相手ディフェンダーの頭を越えてそのままポスト右に出るかと思われた瞬間後ろから駆け上がった森川がゴールポストにぶつかるとの勢いで突進し右足でダイレクトボレー。25才の誕生日を自ら祝福するバーステューゴール。ゼルビアが先制。ロスタイムになりホンダの攻撃を自陣深いところでセンターバックの中川が大きくクリア。高く大きく蹴り上げられたボールは遠く離れたホンダディフェンスの裏に、ホンタディフェンダー二人を置き去りにして勝又がハーフライン付近でボールを取るとそのままドリブル。ゴールキーパーと1対1になったところで右に回り込み角度のないところから右足を振り抜き待望の追加点。2対0とリードして前半終了。

### 待ちわびる歓喜の瞬間

後半に入るとホンダが執念を見せ、13分にペナルティエリア外で一瞬フリーになったところを30mのミドルシュートを決められるが、段々ゼルビアもリズムを取り戻し石堂、山口、柳崎と次々にゴールに迫る。ロスタイム4分、優勝の瞬間を待ちわびるサポーターとベンチが一緒になってまわった。ゼルビアを繰り返すなかで歓喜のホイッスル。控え選手もグラウンドに飛び出すなかゼルビア優勝決定。JFL昇格を決めた。

### 涙と笑顔と

試合終了の挨拶が終わると選手はサポーターの前に来て「バンザイ」を連呼。みんなが抱き合い喜びを分かちあうと誰からともなく「胴上げだ」。逃げ回る戸塚監督を捕まえると戸塚監督が宙に舞う。続いてたけなな、コルで竹中選手兼コーチが胴上げ。終わるや否やその輪のままジェイエフエル、ジェイエフエルと右手を突き出しみんながゴール。顔を抑えて倒れこむ石堂、大泣きする雑賀、抱き合いうれし泣きのサポーター。ずっとゼルビアを追い続けてくれたプレス関係者は涙流しながら力メラを回す。笑顔と涙が交じりあうなか選手とサポーターと一緒に写真撮影。日本一のサポーターに支えられながらゼルビア社会人リーグ日本一達成。さあ、いよいよ「J」に挑戦だ！



# 地域決勝大会 決勝ラウンド

後半も開始3分の山腰のシュートから攻めたるもの段々と膠着状態。冷たい風がさらに突風へと強くなってボールをつなげることができない。風が弱くなってゼルビアが少しずつペースを取り戻す。17分には右サイドの勝又からパスを受けた酒井が右足を振りぬぐも右サイドネット。18分にはコーナーキックを森川が頭で合わせるがキーパー正面。23分柳崎のドリブルからシュート、26分石堂の風に乗せてのロングシュート、28分柳崎のヘディングシュート、42分ゴール前混戦からの酒井のシュート、と攻め続けるものゴールを揺らせないまま。44分になって柏木、45分に山口を投入するもゼルビアらしいパスサッカーを展開できないまま試合終了。試合内容は褒められるものではなかったが、まずは勝点3を獲得した。

## 突風でリズムつかめず

昨日までの夏のような天気から一転の石垣島。冷たい風が激しく吹くなか開始早々からゼルビアの猛攻。開始2分、波状攻撃のなか蒲原がもつたペナルティーエリア外の中央左寄りのフリーキックを石堂が相手の壁の上からゴール前ですくどく落ちる30メートル弾をゴール右上に突き刺し先制。勢いに乗るゼルビアは9分、右コーナーキックを石堂、酒井のコンビでシュートコーナー。すぐにボールを返してもらった石堂は中央に回りこんでからゴール前に速いクロス。これを中川が頭で合わせて追加点。前半9分、2対0と勝負を決める。守りでは危ないシーンがまったくないまま前半終わってシュート数9対2と圧倒。

## 開始2分、石堂先制弾

11月28日(金)沖縄県石垣市あかまサッカーパーク「地域リーグ決勝大会・決勝ラウンド」の1日目、FC町田ゼルビア対レノファ山口(中国リーグ1位)。

**1日目(11月28日)**  
**レノファ山口戦 2対0勝利**  
**JFLへ順調発進**  
**あと2勝!**

## 2日目(11月29日) Vファーレン長崎戦 0対0 (PK 5対3) 勝利!!



新守護神・渡辺が長崎の4人目を止めるスーパーセーブ。ゼルビアに勝利を呼び込む。

## 3位以内確定! ゼルビア JFLへ王手!

**2日目**  
さすが天王山!  
ゲームもサポーターも白熱!

2日目はFC町田ゼルビア対Vファーレン長崎(九州リーグ2位)。

ちよっと肌寒い石垣島。しかしそんなひんやりとした天候も吹き飛ばすサポーターの熱気。ゼルビアサイドには120人を超えるサポーター。長崎サイドにも50人を超える応援団。キックオフ前から白熱した応援合戦。

開始直後は長崎ペース。8分までの間に長崎のフリーキック2本、コーナーキック2本とゼルビア押され気味。しかし段々とゼルビアが盛り返す。16分には勝又の右45度からシュートはキーパーがパンチングの好セーブ。続くゼルビアのコーナーキックで石堂から酒井にシュートコーナーを繰り出せば長崎がこれを出足良くカットして逆襲。ゴールキーパー飛び出し1対1になるがシュート外して危機を脱する。といった一進一退の好ゲーム。

まさに5分5分の展開。ゼルビアは前の4人がよく動きゴールに次々に絡むもゴール前で決定打が出ない。守っては公式戦ではこの地域決勝から初めて守護神を演じている渡辺が落ちて着いてゴールを守る。前半終わってシュート数ゼルビア5本に長崎4本。内容もいいゲームに両サポーターの必死の応援。まさに白熱した大一番。会場全体が異様な緊張感と熱気に包まれる。

## ゼルビア圧倒的優勢!

後半に入ると開始早々からゼルビアの猛攻。1分に勝又が絶好の場所でフリーキックをもらうと石堂が直接シュート。3分には勝又がシュートするも右サイドネット。7分にも柳崎の早い縦パスを山腰が胸で勝又に流し勝又が左足でシュート。絶対好機を逃すもののゼルビアらしい攻撃が次々に展開される。

守備陣も4人の最終ラインがきれいにラインを保ち、高い位置からのプレスで長崎のクリアボールもほとんど支配。運動量が落ちてきた長崎に対しゼルビアが運動量で勝ち長崎のボールもすぐにカット。後半41分までは長崎のシュートは17分のロングシュートだけに抑えるほぼ完璧な中盤から最終ラインのディフェンス。その間も21分、敵の

## 5人全員PK決める!

PK戦では監督が絶対の信頼を寄せる石堂が鳥取に次いで一番手。信頼に応えしつかりと決める。二番手は前回と同じ柳崎。これも決めて2対2。3人目からは鳥取で蹴ってない勝又と酒井。二人ともに落ちて着いて決める。酒井が4人目決めたところで長崎の4人目を渡辺が奇跡のセーブ。鳥取では外したら負けという厳しい場面を蹴った雑賀が今日は決めた勝ち。この5人目に登場。気迫で決めてゼルビアの5人が全員決めて勝利。貴重な勝点2を獲得し、JFL昇格に大きく前進した。

## 絶大な力の大応援団! 勝利を呼び込む!

鳥取でもPK戦はゼルビアサポーターのいないサイドを審判が選ぶくらい圧倒的にゼルビアサポーターの応援勝ち。PK戦になったときの精神的支えは絶大。また全国からは速報体制を強化したゼルビアホームページにアクセスが殺到しサポーターがパンク。絶大な応援が勝利を呼んだ。

あたたかいご声援  
本当にありがとうございました!



夢おこし まちおこし 町田チャレンジ

イレブン  
ゼルビア2011年宣言

2011年、私たちはJリーグ昇格を実現します。  
まちに元気、子どもに夢と希望を運びます。



FC Machida Zelvia